

平成21年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		社会福祉法人 武蔵野						
① 事業	指標名	高齢者・身体・知的障害者の施設の定数確保			目標値	100%	実績値	100.7%
	過去の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度	達成率	100.7%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: %)	95.3	97.0	97.5				
	取組内容	※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①入退所の空白が生じないよう市のケースワーカー等と連携を強化した。 ②特別支援学級など他関係機関と連携して早めに通所希望者を募集した。 ③事業説明会を市民及び関係者に対して行った。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①障害者施設系ではほぼ定数を満たしている ②高齢者施設では、依然として桜堤ケアハウスの2名部屋が長期にわたって空室となっているため、引き続き空室解消の努力が必要である。							
二次評価	目標達成を評価する。桜堤ケアハウスの空室も含め、引き続き定数確保に努められたい。							
② 財務	指標名	介護保険・自立支援費等収入の増加			目標値	610,000千円	実績値	705,566千円
	過去の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度	達成率	115.6%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 千円)	455,552	586,787	606,289				
	取組内容	※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①空白期を長く作らないよう入退所の体制をスムーズに行った。 ②施設の説明会を関係機関、利用者、利用者家族に事前に行った						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○障害者各施設は定員確保に努め、また山びこ、ふれあいなどは単価の大幅改正や平均区分から一人ひとりの単価になったことなど法改正が大幅増につながった。 ○今後は、けやき、福祉作業所を中心に就労支援事業収入増を更に強化し自主財源を拡充することが必要である。							
二次評価	単価改正によるところもあるが、目標を大きく上回ったことは評価できる。自主財源拡充にも努められたい。							
③ 人事	指標名	人事考課・給与制度の整備及び正職員削減のため臨時職員の効率的給与体系の確立			目標値	106名	実績値	106名
	過去の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 名) 正規職員数	100	104	108				
	取組内容	※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①東社協の給料表を参考に改正(減額)を行ったが、人事考課を給与に反映するまでには至っていない。 ②山びこで1名、退職者を臨時職員で補った。 ③介護職員処遇改善助成金を原資に臨時職員・嘱託職員に特別手当を出し、待遇を改善した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○正職員の数は、目標を達成した。 ○臨時職員の待遇改善は行ったが正職員については、人事考課を給与に反映するまでには至っていない。							
二次評価	正職員数の目標達成は評価する。給与体系については、ヒアリング時の議論をふまえ、慎重に対応すること。							